

【 降雨によるグラウンド不良でA⑤～A⑥試合は、翌日に順延 】

【二回戦】 A⑤ 7/14

5回コールドゲーム

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
勝本北星	0	0	0	0	0					0
三菱重工長崎	0	1	3	2	2x					8

開始 08:52 終了 10:22 所要 1時間30分

【三塁打】 吉原貴大

【二塁打】 吉原貴大

稲澤和也 2

【審判】 川崎 仁

波多野幹治

阿比留正臣

山崎光昭

【勝本北星】

打安点球

③ 中原 悠太	24	2	0	0	0
⑥ 白川 秀貴	27	2	0	0	0
⑧ 下條弘二郎	27	2	0	0	0
⑤1 山田 敬吾	27	2	1	0	0
④ 本田 雄大	27	1	0	0	0
⑦ 槇木 翔人	24	2	0	0	0
② 眞辺 信吾	29	2	0	0	0
⑨5 松永 祥吾	30	2	0	0	0
①9 岩井 竜次	26	1	1	0	0

犠1振3残2併0失1 16 2 0 0

初回、一死後に敵失から捕逸二進後に三盗死で先制機を逸した三菱重工長崎は二回に先頭吉原の左越え二塁打と坂田の右連打で先取点。三回は二死後に稲澤が左線二塁打。四球の2走者を吉原の右中間三塁打で還し、坂田の左連安打で3点を加えた。四回に代わった山田からも二死二塁から4連続死四球を得、2走者が押し出し生還。五回にも先頭から2連続四球を犠打で進めた後の二死二三塁に、稲澤の当りは右フェンスをバウンドで超えるエンタイトル二塁打で二者が還って8点差を付けコールド勝ちした。

勝本北星は二回、先頭の山田が右前打し犠打と内野ゴロで三進したのが唯一の得点機で、三回一死後に右前打の岩井や五回一死後の敵失走者は二進できずに終わった。

平成の30年間に壱岐支部代表で勝本が天皇賜杯県大会に出場したのは11年と20、23年の三度。だが20、23年は雨順延日程を棄権し記録上では0勝3敗。だが四度目出場の今大会の一回戦で白星を挙げて、A級の三菱重工長崎と対戦した。

【三菱重工長崎】

打安点球

⑤ 植杉 真行	26	4	0	0	0
④ 稲澤 和也	27	3	2	2	0
③ 富岡 壮馬	28	1	0	0	2
⑧ 吉原 貴大	26	2	2	3	1
② 坂田 竜徳	28	2	2	3	1
⑥ 原 征一郎	29	1	0	0	1
⑨ 永松 孝広	31	2	0	0	0
H 中山 圭介	20	0	0	0	1
① 山口 宰	29	2	0	0	1
⑦ 梅井 翔太	19	2	1	0	0

犠2振0残7併0失1 19 7 8 7

